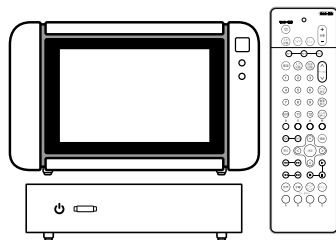
感動をデザインします
TWINBIRD

pdf版

屋内専用

防水ワイヤレスモニター
WV-J707
取扱説明書

■このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
■この取扱説明書をよく読んでから使用してください。
不適切な取扱いは事故につながります。
■この取扱説明書は必ず保管してください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country

RX0612C

● もくじ

ご使用上のご注意

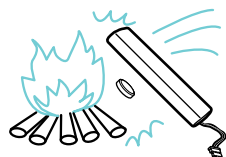
安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に、
この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

内蔵の専用バッテリーパック、コイン形リチウム電池について

危 険

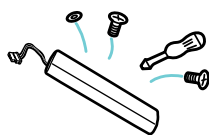
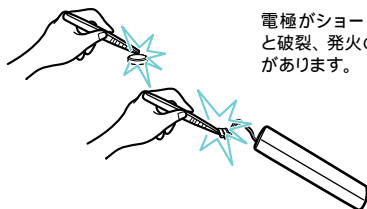
禁 止

火の中に投入したり加熱しないでください。

電解液が吹き出したりして破裂の原因になります。

分解禁止

バッテリーパック自体の分解や改造をしないでください。

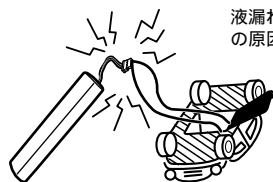
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

禁 止

⊕⊖端子を針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電極がショートすると破裂、発火の恐れがあります。

禁 止

指定の機器以外に接続したり使用したりしないでください。

液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

禁 止

バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないでください。

破裂、火災の原因になります。

禁 止

電池が液漏れしたときは素手で液をさわらないでください。

液が目に入ったときは、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、必要なときは医師に相談してください。

警 告

禁 止

コイン形リチウム電池は、幼児の手の届くところに置かないでください。

お子様が飲み込んだりすると、中毒の原因になります。もし飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

水ぬれ禁止

水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。

電池端子がさびたり発熱の原因になります。

禁 止

バッテリーパックの外装チューブをはがしたりキズを付けたりしないでください。

電池がショートして液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

注 意

強 制

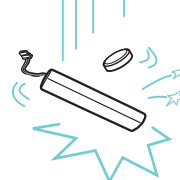
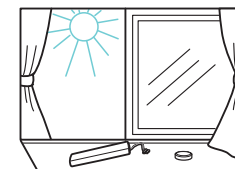
防水学習リモコンに使用しているコイン形リチウム電池は次のことを守ってください。

- 指定(CR2032)以外の電池は使用しないでください。
- 極性⊕⊖に注意し、表示通りに入れてください。
- 長期間(1ヶ月以上)使用しないときは、防水学習リモコンから電池を取り出しておいてください。

禁 止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

液漏れ、発熱の原因になります。

禁 止

火のそばや直射日光にあたるところなど、高温の場所で使用、保管、放置をしないでください。

安全上のご注意

防水モニターについて

⚠警 告

分解禁止

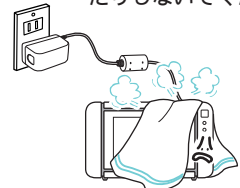
お客様ご自身で分解や修理をしないでください。

本製品は、電波法の技術基準適合証明を受けていますので、分解すると法律で罰せられることがあります。
火災・感電・故障の原因になります。

禁　止

使用中は、本体や ACアダプターを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災やケースの変形の原因になります。
風通しの良い状態でご使用ください。

強　制

浴室等の水回りで使う場合は必ず内蔵のバッテリーパックで使用してください。

ACアダプターは使用しないでください。
感電や故障の原因になります。

ぬれ手禁止

濡れた手で ACアダプターを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。

プラグを抜く

煙がでたり、変なにおいや音がする場合は、すぐに主電源スイッチを切り、ACアダプターを抜き、販売店か「お客様サービス係」にご相談ください。

異常のまま使用すると火災・感電の原因になります。

プラグを抜く

内部に水が入った場合は、主電源スイッチを切り、ACアダプターを抜き、販売店か当社「お客様サービス係」にご相談ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

強　制

専用の ACアダプターを使用してください。

専用のもの以外を使用すると、火災や故障の原因になります。

禁　止

防水モニターを病院内に設置しないでください。

医療機器の誤動作の原因になることがあります。

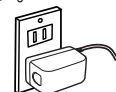
禁　止

ペースメーカーなどの近くで使用しないでください。

ペースメーカーなどの医療電気機器を使用中に、防水モニターを真近まで近づけないでください。

⚠注 意

強　制

専用 ACアダプターは日本国内専用です。交流 100Vでお使いください。

故障の原因になります。

注　意

お子様がスタンドに手を入れないように注意してください。

はさまれてけがをする恐れがあります。

禁　止

故意に水中に沈めないでください。

故障の原因になります。

禁　止

直射日光があたる場所など、温度が高くなる場所に放置しないでください。

本体や部品に悪い影響を与え、変形や故障の原因になります。

禁　止

火気の近くで使用しないでください。

火災や故障の原因になります。

強　制

長期間（2週間以上）ご使用にならないときは、主電源スイッチを切ってください。

電池の破裂・液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因になります。

禁　止

風呂やシャワー室など、湿度の高い場所には長時間、放置しないでください。

故障の原因になります。

禁　止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。

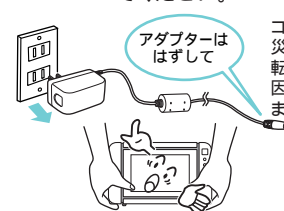
落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因になります。

注　意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をあたえることがあります。

強　制

移動する場合は、ACアダプターや外部との接続コードをはずしてください。

コードが傷ついて火災の原因になったり、転倒してけがの原因になることがあります。

送信機について

警　告

分解禁止

お客様ご自身で分解や修理をしないでください。

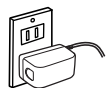
本製品は、電波法の技術基準適合証明を受けていますので、分解すると法律で罰せられることがあります。
火災・感電・故障の原因になります。

禁　止

使用中は、本体や ACアダプターを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災やケースの変形の原因になります。
風通しの良い状態でご使用ください。

強　制

専用の ACアダプターを使用してください。

専用のもの以外を使用すると、火災や故障の原因になります。

禁　止

送信機を病院内に設置しないでください。

医療機器の誤動作の原因になることがあります。

プラグを抜く

煙がでたり、変なにおいや音がする場合は、すぐに ACアダプターを抜き、販売店か「お客様サービス係」にご相談ください。

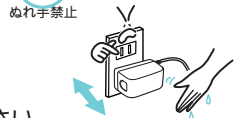
異常のまま使用すると火災・感電の原因になります。

水場での使用禁止

送信機は水のかかるところや、湿度の高いところでは使用しないでください。

送信機は防水ではありません。
感電・故障の原因になります。

ぬれ手禁止

濡れた手で ACアダプターを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。

注　意

強　制

専用 ACアダプターは日本国内専用です。交流 100Vでお使いください。

故障の原因になります。

禁　止

直射日光があたる場所など、温度が高くなる場所に放置しないでください。

本体や部品に悪い影響を与え、変形や故障の原因になります。

禁　止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因になります。

強　制

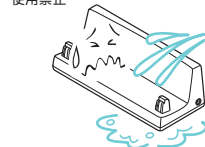
移動する場合は、ACアダプターや外部との接続コードをはずしてください。

コードが傷ついて火災の原因になったり、転倒してけがの原因になることがあります。

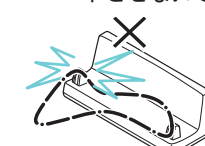
充電台について

警　告

水場での使用禁止

充電台は水のかかるところや、湿度の高いところでは使用しないでください。

充電台は防水ではありません。
感電・故障の原因になります。

禁　止

充電台の充電端子どうしを金属のピンやネックレスなどでショートさせないでください。

感電・故障や火災の原因になります。

強　制

充電台の充電端子および ACアダプターの電源プラグは定期的に清掃してください。

火災や感電の原因になります。

ぬれ手禁止

濡れた手で ACアダプターを抜き差ししないでください。

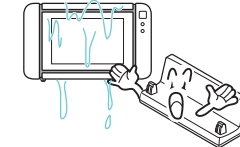
感電の原因になります。

強　制

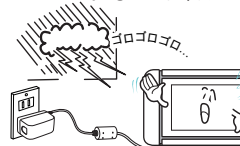
専用の ACアダプターを使用してください。

専用のもの以外を使用すると、火災や故障の原因になります。

強　制

防水モニターが濡れているときは、水をよくふき取ってから充電台にのせてください。

充電台は防水ではありません。
感電・故障の原因になります。

禁　止

雷が鳴り出したら、ACアダプター及び電源端子、充電端子に触れないでください。

感電の原因になります。

禁　止

ACアダプターの使用中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災やケースの変形の原因になります。
風通しの良い状態でご使用ください。

注　意

強　制

専用 ACアダプターは日本国内専用です。交流 100Vでお使いください。

故障の原因になります。

禁　止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因になります。

安全上のご注意

電源について

ACアダプター接続時の注意

次のことをお守りください。

誤った使いかたをすると発熱などにより火災の原因になります。

ACアダプターはコンセントへ確実に接続してください。

ACアダプターのコードは束ねたままにしないでください。

タコ足配線はしないでください。

ACアダプターのコードを傷つけない

無理な使いかたをするとACアダプターのコードが破損しますので、次のようなことをお守りください。

ACアダプターのコードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

熱器具に近づけないでください。

定期的に点検を

電源コンセントとACアダプターの間にホコリが付着していないか、ACアダプターのコードに傷みがないか、ACアダプターの接続がゆるくなっていないかなどを定期的に点検してください。

雷が鳴り出したら

ACアダプターには絶対に触れないでください。

感電の原因になります。

バッテリーパックについて

次のようなことはしないでください。

事故や故障、破裂、発火、けがの原因になります。

バッテリーパックの交換または製品の廃棄時以外には、バッテリーパックを取り出さないでください。

バッテリーパックを加熱、分解、ショートさせたり、火の中に投入したりしないでください。

バッテリーパックを誤った方法で取付けないでください。正しくしっかりと取付けてください。

バッテリーパックの端子を針金やヘアピンなどで接続しないでください。

指定された充電方法以外での充電はしないでください。

電波について

警 告

本製品は、5GHz帯および2.4GHz帯の電波を使用しており、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありませんが、以下のご注意をご確認ください。

- 本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解／改造すること。
  - 本製品の内部に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 屋外で5GHz帯（通信チャンネル36/40/44/48）の電波を使用することは電波法により禁じられています。
- 無線通信は、医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。病院など使用が禁止されるところや医療機器の近くで使用しないでください。
- ペースメーカー等の医療機器を装着されている方は、本製品を十分に（22cm以上）離してご使用ください。

注 意

- 2.4GHz帯の電波は、電子レンジやペースメーカー等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
  - 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の通信チャンネルを変更して、電波干渉をしないようにしてください。
- 近くで、5GHz帯または2.4GHz帯の電波を利用する機器を利用している場合、電波干渉を受けて映像や音声が途切れたり、画面にブロック状のノイズが出ます。電波の干渉を受けないように、通信チャンネルの変更をしてください。
  - 5GHz帯の無線LAN（IEEE802.11a）
  - 2.4GHz帯の電波を利用する無線機器（Bluetooth、無線LAN（IEEE802.11b/g）など）
- 次のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなることで、映像や音声が途切れたり、画面にブロック状のノイズが出る場合があります。
  - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波を発生する機器の近く。
  - 送信機と防水モニターの間または近くに、金属や石や土が使われている壁、ドア、間仕切り、大型の家具や電化製品、防火ガラス等がある場合。
  - 送信機と防水モニターの間に人が入ったり、間を人が横切ったりするとき。
- 送信機から防水モニターに届く電波には、まっすぐに届く電波の他に、建物内の様々なものによって反射されたいくつかの電波があります。この反射された電波によって、電波状態の良い場所と悪い場所ができてしまいます。そのような場合には、送信機または防水モニターを少し動かしたり、向きを変えたりすると、電波状態が良くなることがあ
- 本製品は電波を利用している関係上、第三者が故意に傍受する場合も考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

使用上のお願い

映像について

●本製品は、送信機に入力された映像・音声信号をデジタル圧縮処理をして送信し、防水モニターで伸張処理をして映像・音声を再生しています。このため、防水モニターの映像・音声は、送信機に入力された映像・音声と比べてわずかに遅れて再生されます。また、テレビチューナーを接続した場合はテレビ放送の時報がわずかに遅れますので、ご注意ください。
●防水学習リモコンで映像機器を操作する場合、映像機器の動作時間に本製品の動作時間も加えられるため、リモコンで操作してから防水モニターの映像・音声が反応するまでに時間差が発生します。

結露について

●冷えきった状態で温かい室内に持込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部品に結露が生じ、十分な性能が出せない場合があります。
このようなときは約2～3時間程度放置してからご使用ください。

防水について（防水モニター、防水学習リモコン）

防水モニターと防水学習リモコンはJIS IPX7（旧JIS保護等級7 防浸形）※相当の防水が施されており、雨や水しぶきがかかる場所でも使用できる仕様となっておりますが、以下の点に十分ご注意ください。

●お湯、特に石けん、洗剤、入浴剤の入った湯、水には入れないでください。
●多量の水や強い水しぶきをかけないでください。
●風呂、シャワー室などの水まわりでは、ACアダプターや他のAV機器との接続はしないでください。
●風呂、シャワー室などの水まわりでは、ジャックカバーや電池ふたが確実に閉まっていることを確認してご使用ください。
●製品を水まわりから移動するとき、製品のすき間に水がたまっている場合があります。軽く振って水を切り、柔らかい布でふき取ってください。
●風呂、シャワー室などの湿度の高い場所には長時間放置しないでください。
●ジャックカバー内側のゴムパッキンは、防水機能を維持するための重要な部品です。
汚れや傷がつかないように注意してください。また、ゴムパッキンにゴミ等が付着した場合、水がかかる恐れのない場所で柔らかい布でふき取ってください。

故意に水中で使用したり、ジャックカバーを開いた状態で水まわりで使用されると内部に水が浸入する恐れがあります。水の浸入による製品の故障については保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

※ IPX7…定められた条件で水中に没しても内部に水が入らないもの。

お使いになる前に

本製品は、お手持ちの映像機器を接続してお使いいただく製品です。
初めてお使いになるときや、接続をおこなう際には、接続する映像機器の取扱説明書を用意いただき、本書と併せてお読みください。

本製品をお使いになるための手順

送信機からの映像・音声が防水モニターで正常に受信されていることを確認するために、初めは近くに置いてください。

1. 送信機と映像機器を接続します。

…14～17ページ

↓

2. 電源を接続します。

…18・19ページ

↓

3. 防水学習リモコンに映像機器のリモコン信号を学習させます。

学習した防水学習リモコンを直接映像機器に向けて操作ができることを確認します。

…25・26ページ

↓

4. 送信機、映像機器の電源を入れます。

…20ページ

↓

5. 防水モニターの電源を入れます。

送信機からの電波を正常に受信することを確認します。

…20ページ

↓

6. 防水学習リモコンを使って防水モニター側から、映像機器を操作します。

AVコントローラーが、映像機器のリモコン受光部に正しく向いていることを確認します。
●このとき、防水学習リモコンの信号が映像機器に直接届かないようにします。

…17・21ページ

↓

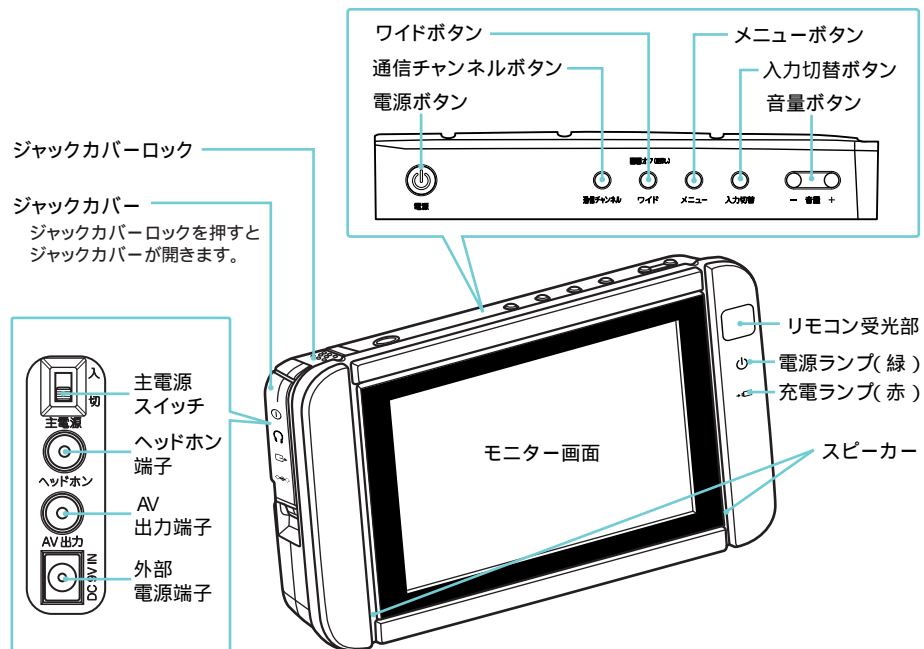
7. 防水モニターをお好きな場所に移動して、防水モニターの電源を入れます。

電波の届かない場所や設置環境により、正常に受信できない場合があります。
この場合は設置場所を変えて正常に受信できる場所に移動します。

●通信チャンネルを変更することで、受信状況が改善される場合があります。

…28・29ページ

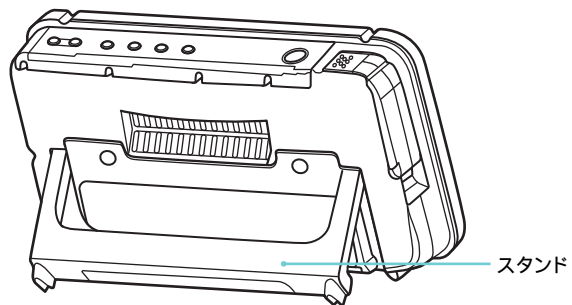
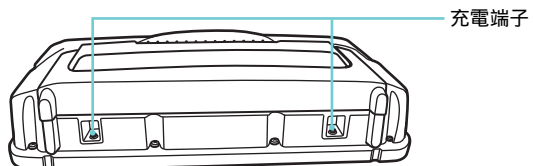
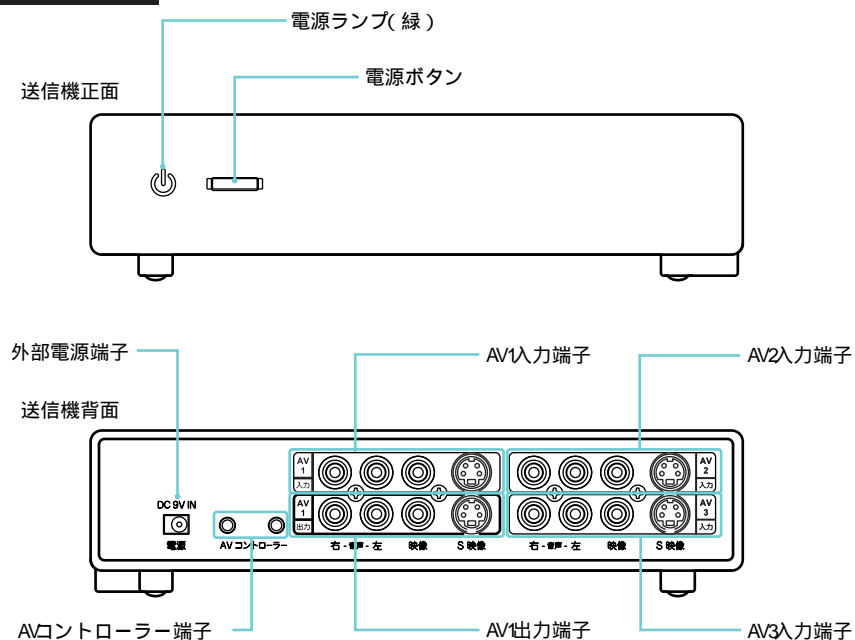
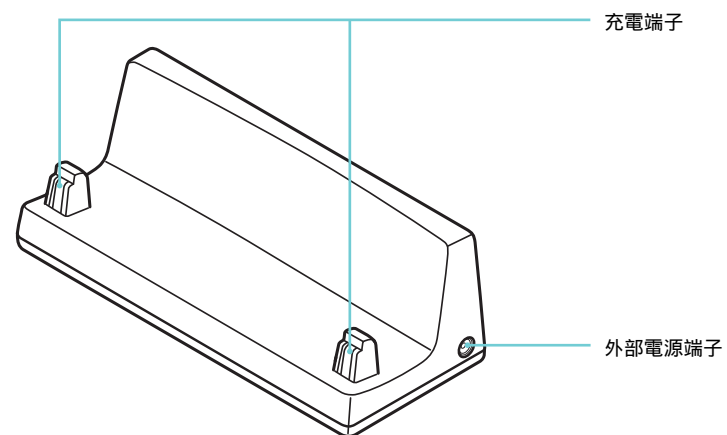
各部の名称とはたらき

防水モニター

〈防水モニター背面〉

〈防水モニター底面〉

送　信　機

〈送信機正面〉

〈送信機背面〉

充　電　台

防水学習リモコン

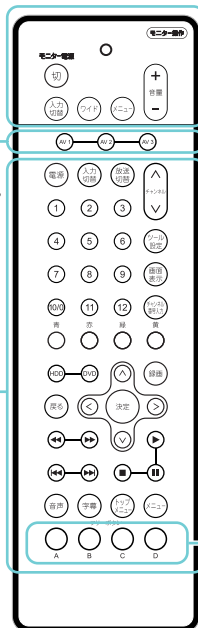
機器選択ボタン

本リモコンは、AV1～3のグループ毎にリモコン信号を学習できます。学習させた信号は、このボタンを押してグループ（AV1～3）を選択してから、操作します。

詳しくは、「各機器のリモコンを学習する」「リモコンで操作する」（25～27ページ）をご覧ください。

映像機器操作用ボタン

映像機器のリモコン信号を学習させて、防水モニター側から映像機器を操作します。

詳しくは、「各機器のリモコンを学習する」「リモコンで操作する」（25～27ページ）をご覧ください。

防水モニター操作用ボタン

切 ボ タ ン：防水モニターの電源が入っているときに、電源を切ります。

入力切替ボタン：防水モニターへ映す映像機器を切り替えます。

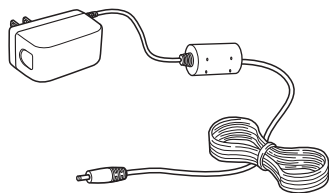
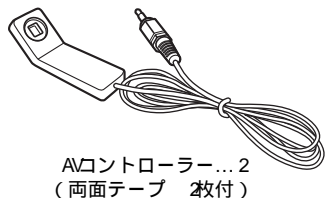
ワイドボタン：表示されたモニター画面の横幅サイズを変更します。

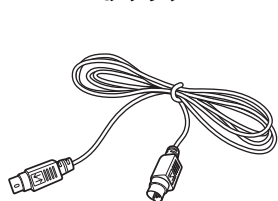
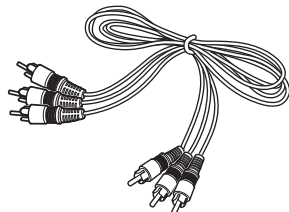
メニューボタン：画質調整などの設定メニューを表示します。

音量＋/－ボタン：音量を調節します。

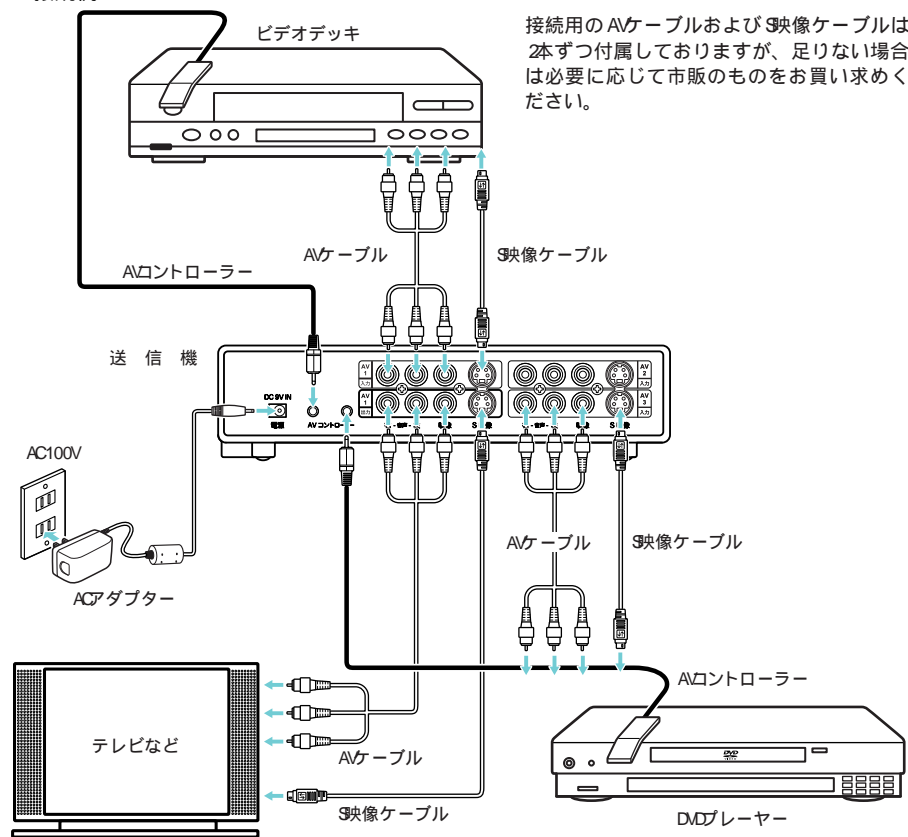
詳しくは、「基本的な操作」（20・21ページ）をご覧ください。

フリーボタン

付属品 お確かめください。

ACアダプター…2

AVコントローラー…2
（両面テープ 2枚付）

リチウム電池
（CR2032）…1

S映像ケーブル…2

AVケーブル…2

送信機と映像機器の接続

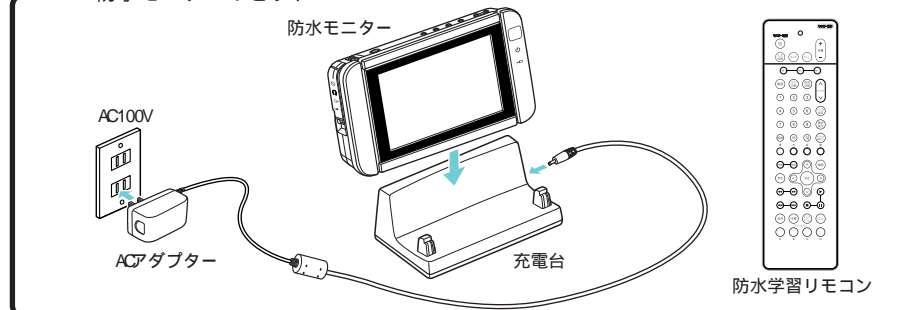
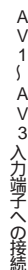
〈接続例〉

●接続用のAVケーブルおよびS映像ケーブルは2本ずつ付属しておりますが、足りない場合は必要に応じて市販のものをお買い求めください。

防水モニターのセット

AV1〜AV3入力端子への接続

ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像機器を接続します。（3台まで接続できます。）

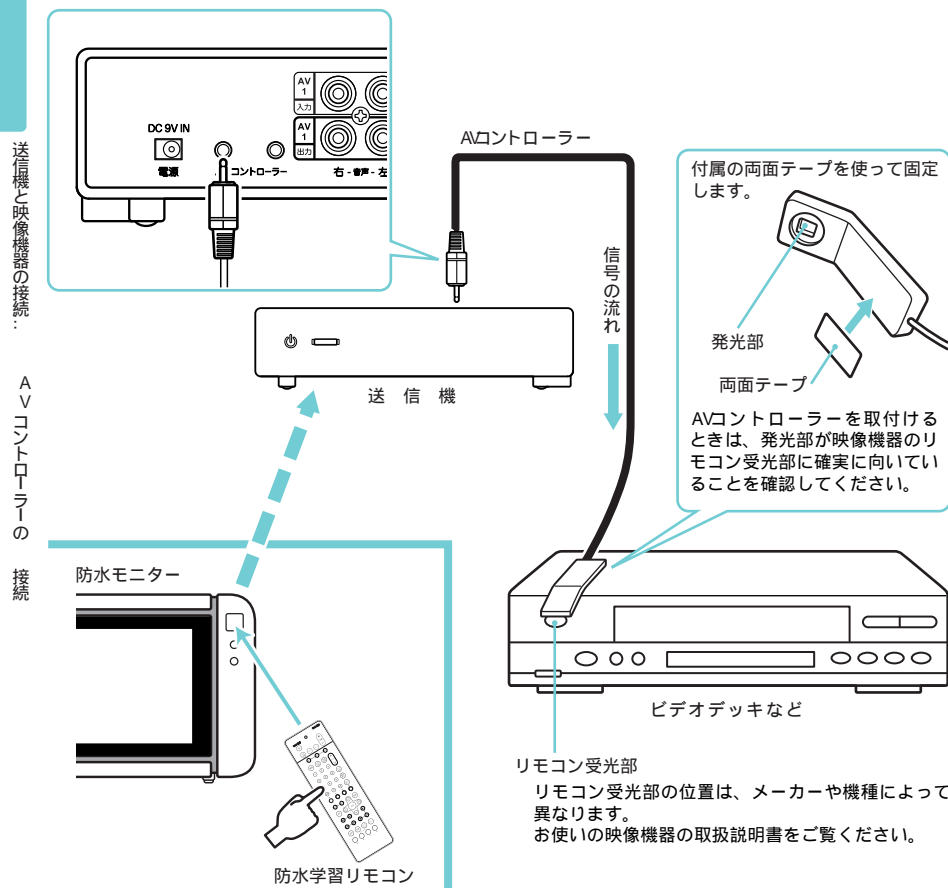
- 映像機器を接続するときは、送信機および接続する映像機器の電源を必ず「切」にしてから接続してください。
- 接続する機器の使用方法や接続のしかたは、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- オーディオ機器（CDプレーヤーなど）を接続して、音声信号だけを防水モニターへ送信することはできません。
- 接続用のAVケーブルおよびS映像ケーブルは2本ずつ付属しておりますが、足りない場合は必要に応じて市販のものをお買い求めください。

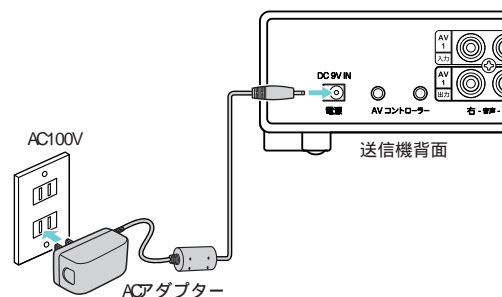
AV1出力端子への接続

AV1入力端子に接続した映像機器の信号が出力されます。

- 映像機器を接続するときは、送信機および接続する映像機器の電源を必ず「切」にしてから接続してください。
- 接続する機器の使用方法や接続のしかたは、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続用のAVケーブルおよびS映像ケーブルは2本ずつ付属しておりますが、足りない場合は必要に応じて市販のものをお買い求めください。
- AV1出力端子をご使用になる場合、ACアダプターを送信機とコンセントに接続してください。ACアダプターが接続されていないと、AV1出力端子から映像信号を出力できません。
- 出力される信号は、AV1入力端子に接続した映像機器の信号です。AV2、AV3入力端子に接続した映像機器の信号は出力されません。
- 送信機および防水モニターの電源が「切」の状態でも、AV1入力端子の映像信号が出力されます。
- AV1入力端子と映像機器の接続にS映像ケーブルを使用していないと、AV1出力端子のS映像端子から信号は出力されません。

AVコントローラーの接続

AVコントローラーを接続することで、送信機に接続した映像機器（ビデオデッキやDVDプレーヤーなど）を防水学習リモコンで防水モニター側から操作できます。

- AVコントローラーを接続するときは、送信機の電源を必ず「切」にしてから接続してください。
- 送信機に接続してある映像機器の取扱説明書をご覧になり、リモコン信号の受光部の位置を確認してください。
- 送信機と防水モニターの通信が完了していないと、防水モニター側からの操作はできません。
- AVコントローラーを1本しか接続していなくても、発光部が複数の映像機器のリモコン受光部に向いていれば、その複数の映像機器を操作することができます。

電源について

送信機の電源

付属のACアダプターを、送信機とコンセントに接続します。

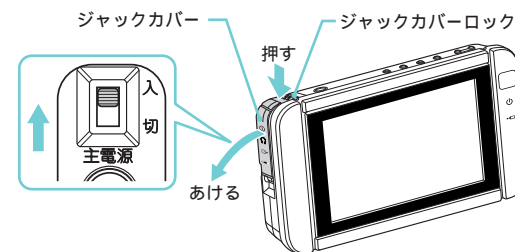
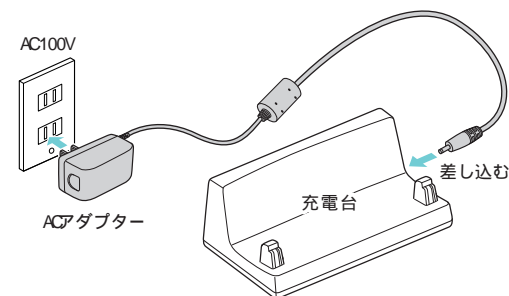
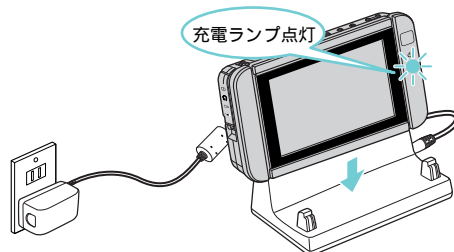
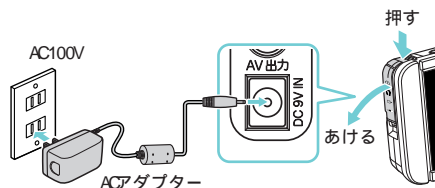
注意

AV1出力端子をお使いになる場合、ACアダプターを送信機とコンセントから抜かないでください。
AV1出力端子に接続した機器で映像を再生することができなくなります。

防水モニターの電源

防水モニターの電源には、内蔵のバッテリーパックまたは付属のACアダプターがご使用になれます。

バッテリーパックを充電する

1. 防水モニターのジャックカバーロックを押してジャックカバーを開け、主電源スイッチを「入」にします。

2. 付属のACアダプターを、充電台とコンセントに接続します。

3.防水モニター本体を充電台にのせます。

防水モニターのジャックカバー内の外部電源端子にACアダプターを接続しても充電することができます。

4.充電が終了すると、充電ランプが消灯します。

充電が終了するまでの時間は、バッテリーパックの使用状態により異なります。（最大8時間）

! 注意

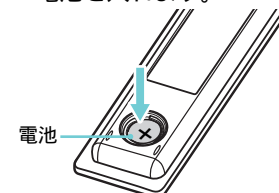
- お買い上げ後、初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは、必ず充電ランプが消灯するまで充電を行ってください。
- 充電台にのせているとき、または、外部電源端子にACアダプターを接続しているとき、防水モニターの電源を入れるとACアダプターから電源が供給され動作します。
  このとき、充電は中断されます。

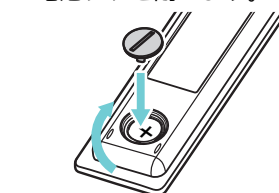
防水学習リモコンの電池

電池を入れる

1.電池フタを開けます。

リモコン裏側の電池フタをコインで回してはずします。

2.電池を入れます。

付属のリチウム電池（CR2032）の⊕を上側にして入れます。

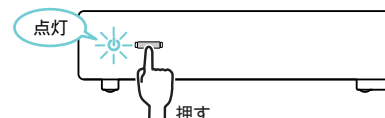
3.電池フタを閉じます。

電池フタを取付け、コインで電池フタを閉めます。

! 注意

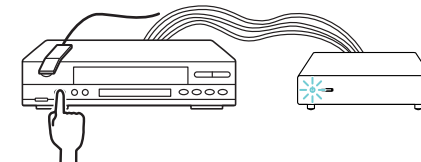
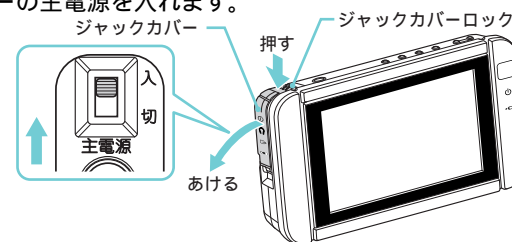
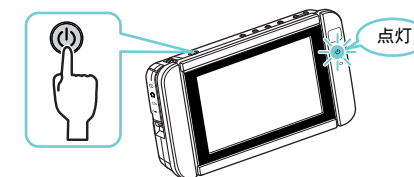
- 防水学習リモコンの電池が消耗すると、リモコンを防水モニターの近くで操作しても動作しなくなります。そのような時は新しい電池に交換してください。
- 電池を入れた後、防水学習リモコンが正常に動作しない場合（赤ランプが点滅を繰り返すなど）は、いったん電池を抜き、10秒ほど待ってから電池を入れ直してください。入れ直しても改善されない場合は電池が消耗しています。新しい電池に交換してください。
- 保証期限の過ぎた電池や、一部の海外メーカーなどの電池を使用した場合、電池電圧が大きく変動するため、使用時間が極端に短くなり、正常に動作しない場合があります。
- 電池は、国内メーカー品のCR2032リチウム電池を使用してください。
- 付属の電池はお試し用です。寿命が短いことがありますが、ご了承ください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は各自治体の指示（条例）に従ってください。
- 防水学習リモコンを長期間（1ヶ月程度）使用しない場合は、電池を取りはずしてください。
  防水学習リモコン内の電池が液漏れを起こす場合があります。

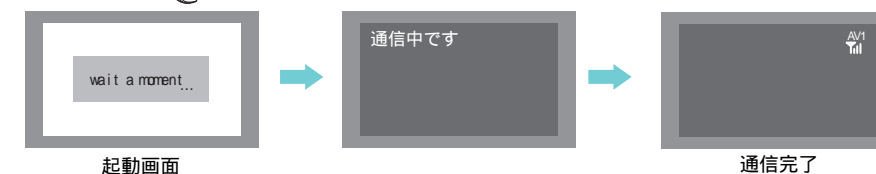
使いかた

基本的な操作

1.送信機の電源を入れます。

2.接続した映像機器の電源を入れます。

3.防水モニターの主電源を入れます。

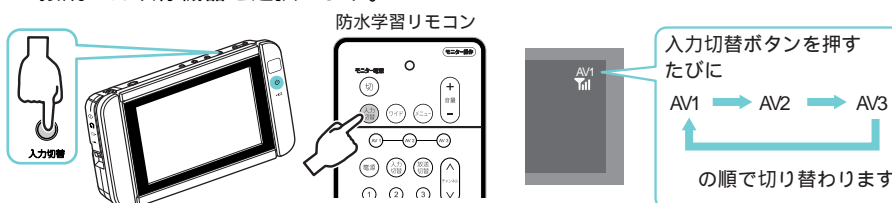
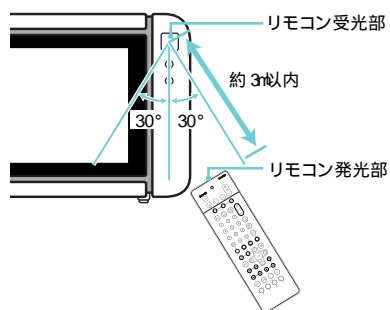
ジャックカバー　押す　ジャックカバーロック　入　切　主電源　あける

4.防水モニターの電源を入れます。

モニター画面に起動画面が映った後に、送信機と通信を行います。
電波状態によって通信が完了するまでしばらく時間がかかる場合があります。

起動画面　通信完了

モニター画面に「電波を受信できません」と表示された場合は、「電波を受信できないとき」（28ページ）をご覧ください。

5.接続した映像機器を選択します。

入力切替ボタンを押すたびに

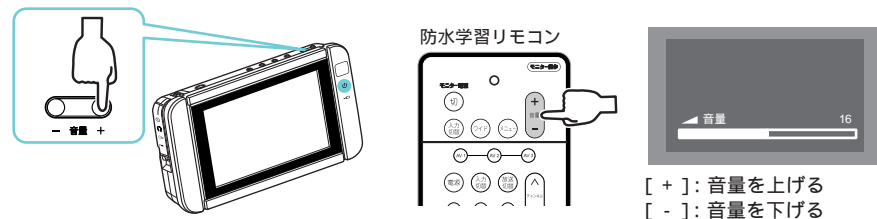
AV1 → AV2 → AV3

の順で切り替わります。

6.防水学習リモコンで再生、選局など、映像機器を操作します。

映像機器を操作するには、事前の設定が必要です。詳しい操作方法は、「防水学習リモコンの使いかた」（25~27ページ）をご覧ください。

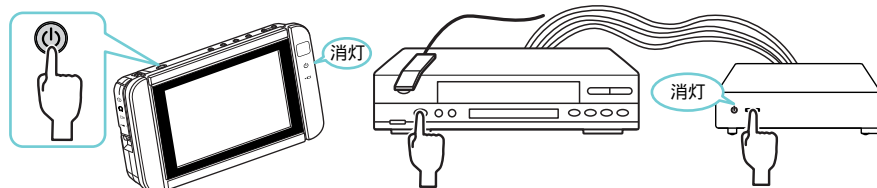
! 注意

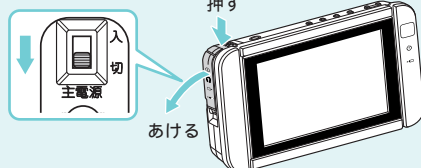
- 防水モニターのリモコン受光部とリモコンの間に障害物があると操作できないことがあります。
- リモコンの電池が消耗すると、リモコンを操作しても動作しなくなります。そのようなときは新しい電池に交換してください。
- 防水モニターのリモコン受光部に直射日光やインバータ蛍光灯の強い光が当たると、正常に動作しないことがあります。

7.音量を調節します。

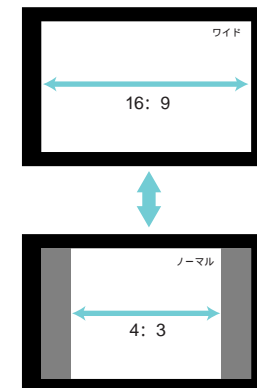
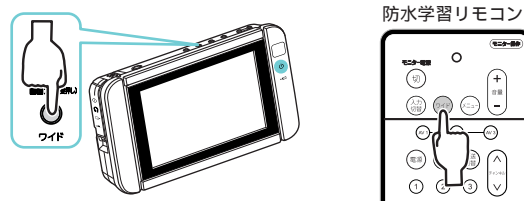
防水学習リモコン

[＋]：音量を上げる
[－]：音量を下げる

8.見終わったら、防水モニター、映像機器、送信機の電源を切ります。

防水学習リモコン

! 注意

長期間、ご使用にならないときは防水モニターの主電源を「切」にしてください。

各種設定のしかた

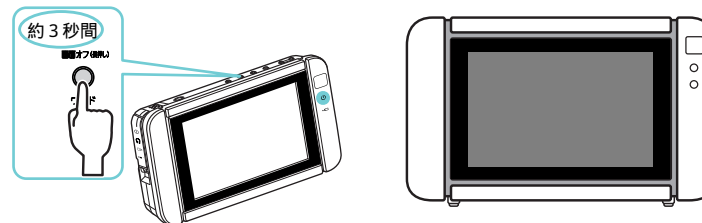
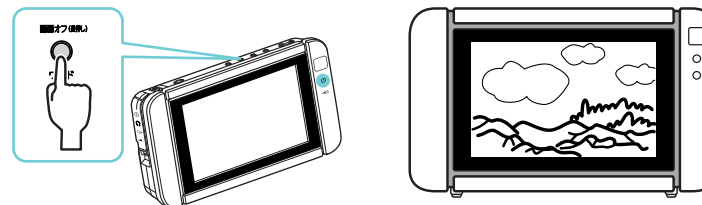
モニター画面表示サイズの切り替え

映像に合わせて画面の表示サイズを切り替えます。

防水学習リモコン

ワイドボタンを押すと現在の画面サイズが表示されます。画面サイズが表示されている間に、ワイドボタンを押すたび、画面の横幅が変わります。

モニター画面の表示を消す

音声のみを聴きたい場合、モニター画面を消すことができます。
（バッテリーが若干節約されます。）

1.防水モニターのワイドボタンを約3秒間押し続けるとモニター画面が消えます。

2.防水モニターのワイドボタン押すと元に戻ります。

! 注意

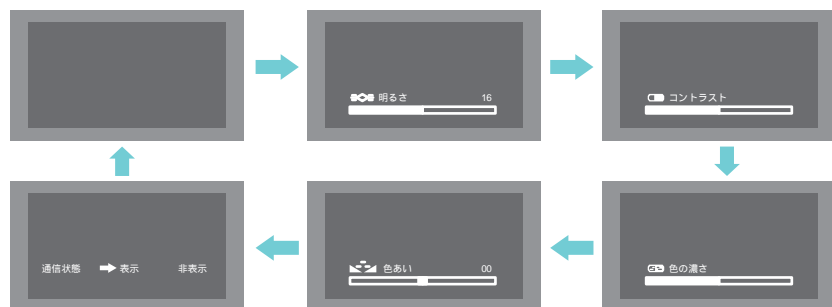
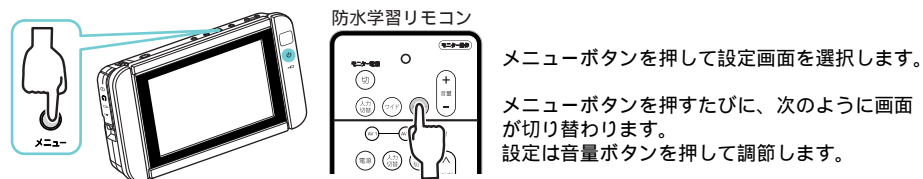
- 防水学習リモコンのワイドボタンでは、「モニター画面表示を消す」操作はできません。
- 画面を消している状態でも音量の調節や入力切替をすることができますがモニター画面には何も表示されませんのでご注意ください。

画質の調節・通信状態表示の切り替え

明るさやコントラストなどの画質をお好みの状態に調節したり、送信機との通信状態の表示／非表示を切り替えることができます。

防水学習リモコン

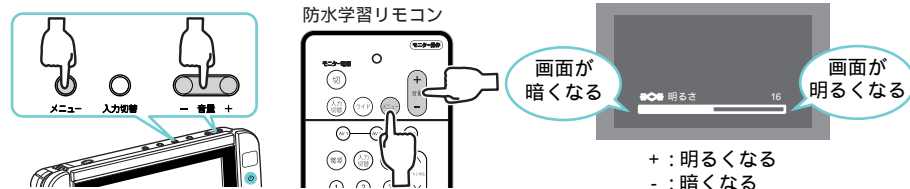
メニューボタンを押して設定画面を選択します。

メニューボタンを押すたびに、次のように画面が切り替わります。
設定は音量ボタンを押して調節します。

● 約5秒間操作を行なわないと、通常の画面に戻ります。
● それぞれの設定は、電源を切った後も保持されます。

明るさの調節

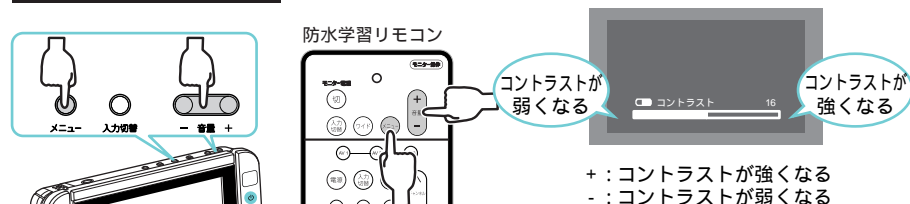
映像の明るさを調節します。（33段階）

防水学習リモコン

＋：明るくなる
－：暗くなる

コントラストの調節

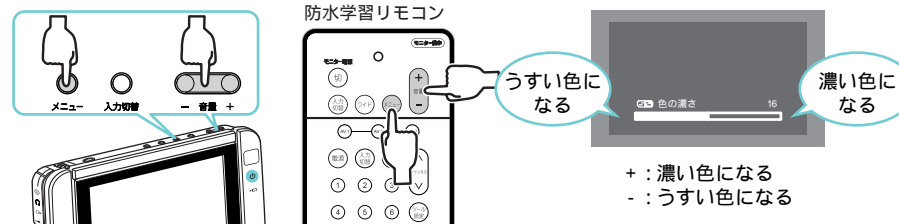
映像のコントラスト（濃淡）を調節します。（33段階）

防水学習リモコン

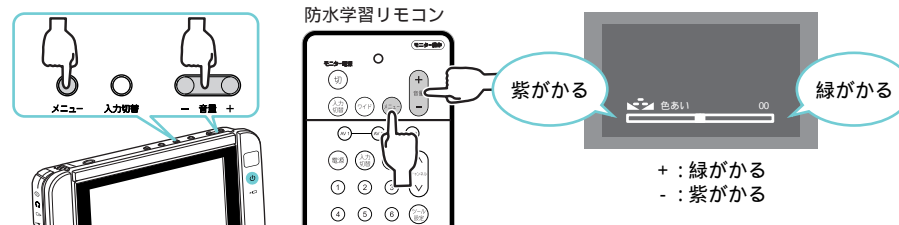
＋：コントラストが強くなる
－：コントラストが弱くなる

色の濃さの調節

映像の色の濃さを調節します。（33段階）

防水学習リモコン

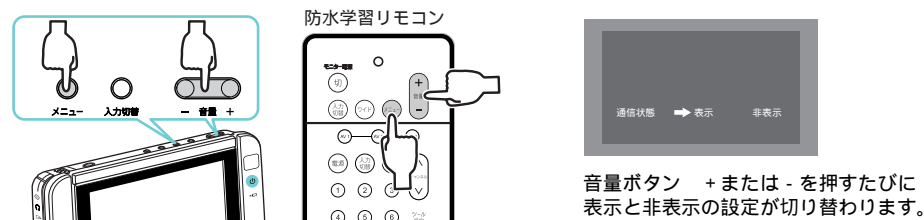
＋：濃い色になる
－：うすい色になる

色あいの調節

映像の色あいを調節します。（33段階）

＋：緑がかる
－：紫がかる

通信状態の表示切替

通信状態（電波の強さ、選択している映像機器）の表示／非表示を切り替えます。

防水学習リモコン

音量ボタン　＋または－を押すたびに表示と非表示の設定が切り替わります。

表示の設定にすると、画面の右上に、通信状態が常に表示されます。

非表示の設定にすると、入力切替などの操作をしたときに、数秒間だけ表示されます。

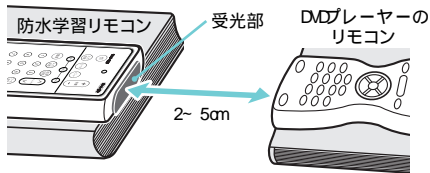
使いかた・各種設定のしかた

防水学習リモコンの使いかた

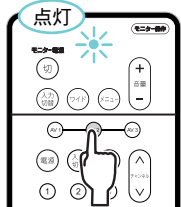
各機器のリモコンを学習する

本製品の防水学習リモコンにリモコン信号を学習させると、送信機に接続した映像機器を操作することができます。

1.防水学習リモコンと学習させたいお使いの機器のリモコンを向かい合わせにします。

例）送信機のAV2入力端子に接続した、DVDプレーヤーの再生ボタンを学習します。

●机など、平らな所に置いてください。
●学習させるリモコンの送信部と、防水学習リモコンの受光部の高さが違う場合には、本などを用いて、高さを合わせてください。

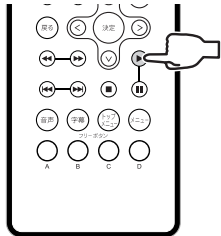
2.防水学習リモコンの、機器選択ボタンAV1(またはAV2、AV3)を3秒以上押します。

例）AV2に接続しているので、防水学習リモコンのAV2ボタン(AV2)を3秒以上押します。

防水学習リモコン

赤ランプが点灯し続けます。

3.防水学習リモコンの、機能を設定（変更）したいボタンを押します。

例）防水学習リモコンの再生ボタン▶を押します。

防水学習リモコン

赤ランプが1回点滅します。

4.お使いの機器のリモコンの学習させるボタンを押します。

例）DVDプレーヤーの再生ボタンを押します。

DVDプレーヤーのリモコン

防水学習リモコン

学習が完了すると、赤ランプが2回点滅します。

5.引き続き他のボタンに学習させるときは、手順3と4を繰り返します。

例）手順3と4を繰り返して、早送り、巻き戻し、停止など、よくお使いになる機能のボタンも学習させます。
赤ランプは点灯し続けています。
映像機器のリモコンと同じ機能のボタンが無いときには、フリーボタン（白色のA～Dボタン）を利用してください。

学習操作の途中で10秒以上操作しない、または学習ができない場合や、学習途中で記憶容量がいっぱいになった場合には、赤ランプが3回点滅後、消灯して学習操作を終了します。
このような場合、それまで学習操作をしていたボタンは学習されていますので、手順2に戻って引き続き他のボタンも学習させてください。再び学習操作を行っても、学習ができない場合は、記憶容量がいっぱいになっています。

記憶容量がいっぱいになり、学習を新しくやり直す場合には、学習リモコンに学習させたデータを全て消去してから学習操作を行ってください。

6.学習操作を終了するには、AV1（またはAV2、AV3）を押します。

赤ランプが消灯します。

学習した後、防水学習リモコンを直接映像機器に向けて、正しく操作できるか確認してください。
学習したボタンで正しく操作ができないときは、そのボタンの学習をやり直してください。

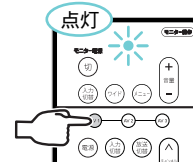
!注意

●学習操作を行うときは、両方のリモコンに新しい電池をご使用ください。電池が消耗していると、学習できなかったり、間違った信号が学習される場合があります。
●本リモコンの受光部と、学習させたいリモコンの発光部の高さを合わせ、リモコンが動かないように、安定した状態で学習させてください。
●直射日光のあたる場所や、照明器具の直下などで学習操作をしないでください。ノイズが入り、学習できなかったり、間違った信号が学習される原因になります。
●お使いの機器のリモコンの種類によっては、発光部の位置がずれている場合があります。うまく学習できないときは、リモコンの位置を変えてみてください。
●この学習リモコンは、お使いのAV機器のリモコンを3台まで学習できますが、記憶容量に制限があります。まず、よくお使いの機能から学習させてください。学習させようとするリモコンの機種によって、学習できるボタンの数が異なります。
●お使いの機器によっては、正しく学習できないことがあります。このような場合には、お使いの機器に付属のリモコンを使用して操作してください。

〈データ全消去の方法〉

※この操作を行うと、AV1、AV2、AV3の全ての学習データが消去されます。

1.防水学習リモコンの、機器選択ボタンAV1を3秒以上押します。

防水学習リモコン

赤ランプが点灯します。

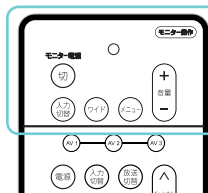
2.防水学習リモコンの、モニター電源切ボタンを3秒以上押します。

防水学習リモコン

赤ランプが2回点滅します。

リモコンで操作する

!注意
防水モニターの電源が入っていないと、リモコンで操作することはできません。

防水モニターを操作する

防水学習リモコンの上部6つのボタンは、一部を除き防水モニター本体のそれぞれのボタンと同じ操作ができます。
切 ボ タ ン：防水モニターの電源を切るとき専用です。
電源を入れることはできません。
ワイドボタン：画面オフの操作はできません。

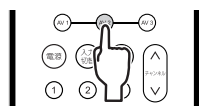
各ボタンの機能については、「基本的な操作」(20・21ページ)をご覧ください。

送信機に接続された映像機器を操作する

防水学習リモコンに学習させたリモコン信号で、送信機に接続した映像機器を操作します。

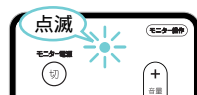
!注意
- 送信機と防水モニターの通信が完了していないと、映像機器の操作はできません。
- 防水学習リモコンに、映像機器のリモコン信号を学習させないと、操作はできません。
「各機器のリモコンを学習する」(25・26ページ)にしたがって、学習させてください。

例) AV2に学習させた、DVDプレーヤーを操作します。
防水モニターまたは、防水学習リモコンを操作して入力切替をAV2にしておきます。

1. 防水学習リモコンの、機器選択ボタンを押します。
例) 防水学習リモコンのAV2ボタン (AV 2) を押します。

2. 操作したい内容のボタンを押します。
例) 防水学習リモコンの再生ボタンを押すと、DVDプレーヤーが再生します。

赤ランプが1回点滅します。

3. 再度、同じ機器の操作を行う場合には、手順1の操作なしに、操作したい内容のボタンを押して操作できます。
例) 防水学習リモコンの停止ボタンを押すとDVDプレーヤーが停止します。

点滅

赤ランプが1回点滅します。

!注意
- 防水学習リモコンのボタンを押してから、実際の動作まで、約1秒くらいの時間差が発生します。この時間差は、接続している機器によって異なります。
- 学習していないボタンを押した場合、赤ランプは点灯しません。リモコン信号の学習をしてください。
- 防水学習リモコンでうまく操作ができない場合には、次の事項を確認してください。
  - ・電池が消耗していないか。
  - ・防水学習リモコンの送信部を、防水モニターの受光部に向けて操作しているか。
  - ・リモコン信号が正しく学習されているか。
  防水学習リモコンを直接、映像機器に向けて、正しく操作できるか確認してください。

電波を受信できないとき

本製品に使用している周波数帯の電波は下記の性質を持っています。
(「電波について」(8ページ)の内容もよくお読みください。)

- 送信機と防水モニターの間に障害物がある
  金　属：反射するため障害物の後に回り込むことができません。
  非金属：減衰して通り抜けます。
- 電波が反射する
  物体に当たると反射をするため、様々な方向・状態(電波の強度や到達時間の差)の電波が届きます。

これらが原因で建物内には必ず電波状態の良い場所と悪い場所ができます。
電波を受信できないときは、次の方法を試してみてください。

■送信機の電源が入っていることを確認します。

送信機の電源が切れている場合は、電源ボタンを押して電源を入れてください。
また、送信機と防水モニターの電源を入れ直すことで改善する場合があります。

■送信機・防水モニターの設置場所を変えます。

下記を参考にして、向きや位置を変えてみてください。少し移動するだけでも、効果が出ることがあります。

- 送信機を高い場所に置くと、建物内全体に電波が届きやすくなります。
- すぐそばに電波をさえぎる物があると、その陰になり電波が届きません。
- 送信機を金属のもので囲んでいる場合(スチールラック内に設置しているなど)、送信機の電波が飛びにくくなります。
- 送信機と防水モニターの間を人が頻繁に横切るような環境では電波が途切れやすくなります。
- 送信機と防水モニターの間をさえぎる物や壁の枚数が少なくなるように設置します。

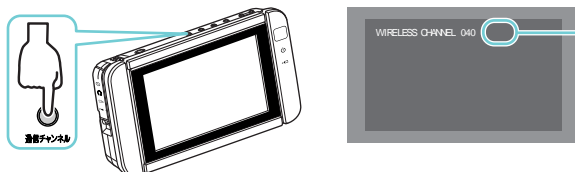
■近くで本製品と同じ周波数の電波を利用している機器より干渉を受けている可能性があります。

建物内で無線LANやBluetoothをご使用の場合
電子レンジなどの電波を利用した製品をご使用の場合

- 電子レンジを使った時に電波が受信できなくなる場合、本製品の通信チャンネルを36～48のいずれかに変更することで、電子レンジの影響を受けにくくなります。
- 本製品またはお使いの無線LANの通信チャンネルを変更することで、お互いの干渉が減ります。本製品の通信チャンネルを確認・変更する方法は、29ページをご覧ください。
  お使いの無線LANの通信チャンネルを確認・変更する方法は、機器の取扱説明書をご覧ください。

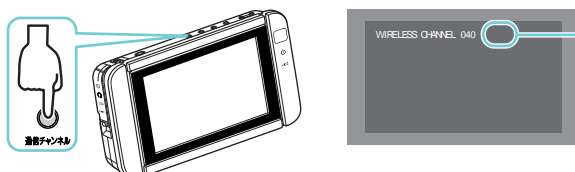
通信チャンネルの確認・変更

1.通信チャンネルの確認

通信チャンネルボタンを押します。

通信チャンネル

画面に、現在の通信チャンネルが表示されます。

2.通信チャンネルの変更

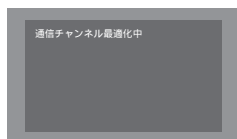
1 通信チャンネルボタンを押します。

通信チャンネル

画面に、現在の通信チャンネルが表示されます。

2 通信チャンネルが表示されている間に、もう一度通信チャンネルボタンを押します。

現在の通信チャンネルから順番に、空いている周波数を選んで通信チャンネルを変更します。

36→ 40→ 44→ 48→ 1→ 3→ 6→ 9→ 11

3 画面に「通信チャンネル最適化中」と表示され、通信チャンネルを再設定します。

4 表示が消えてから約10秒後に、送信機と通信を行います。

（約10秒間、画面には何も映りません。）

5 送信機との通信が完了すると、画面右上に選択していた入力端子と電波状態が表示されます。

バッテリーパックの交換とリサイクルについて

- バッテリーパックは、約500回の充放電ができます。ただし、周囲温度や使用時間などで変わります。
- 充電しても使用時間が短かったり、電源が入らないときは、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお求めください。バッテリーパックの購入については当社「お客様サービス係」までご相談ください。バッテリーパックは消耗品ですので、保証期間内でも無料修理の適用外となります。

バッテリーパック（品番：WV-BA38LI）　5,250円（本体価格5,000円）
（2006年11月現在の価格です。変更することもあります。）

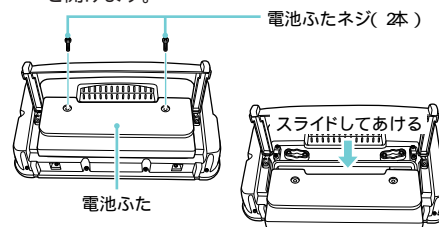
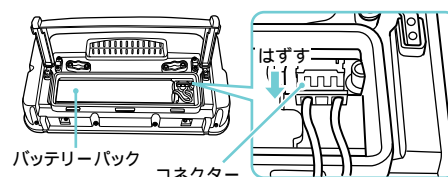
〒959-0292　新潟県燕市吉田西太田2084-2
ツインバード工業(株)　「お客様サービス係」

消費税法の改正により、消費税相当額を含んだ支払総額で価格を表示しています。
消費税は平成16年4月現在の税率に基づいて計算されています。

⚠警告

- バッテリーパックを交換する、または本製品を廃棄する時以外に電池ふたを開けないでください。
- ぬれた手で電池ふたを開けないでください。
- 防水モニターがバッテリーパックで動作しなくなった（放電した）ことを確認してください。

バッテリーパックの取りはずし手順

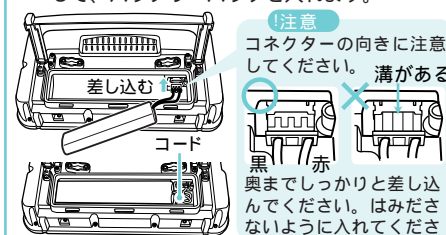
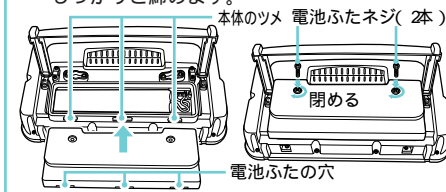
1.ネジ（2本）をはずし、防水モニターの電池ふたを開けます。

2.コネクターをはずしてバッテリーパックを取り出します。

3.取り出したバッテリーパック（リチウムイオン充電池）はリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

取りはずしたバッテリーパックは、お近くの販売店、又は各地方自治体の指示（条例）に従いしたがってリサイクル処理してください。

バッテリーパックの取付け手順

1.バッテリーパックのコネクターを本体に接続して、バッテリーパックを入れます。

!注意
コネクターの向きに注意してください。
奥までしっかりと差し込んでください。はみださないように入れてください。

2.電池ふたを取付けて、2ヶ所の電池ふたネジをしっかりと締めます。

本体のツメに電池ふたの穴を引っかけて矢印の方向へふたをスライドさせてください。

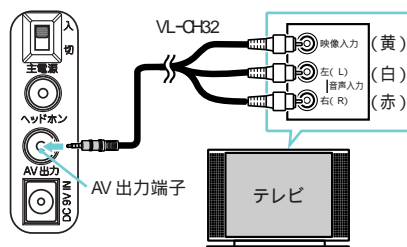
!注意

- 本体内に水が入らないように、電池ふたは確実に取付け、電池ふたネジは2ヶ所ともしっかり締めてください。電池ふたが正しく取付けられていない状態では防水にはなりません。
- 本体が濡れている状態で電池ふたを開くと、本体内に水が入る場合がありますので、必ず乾いた状態で行ってください。

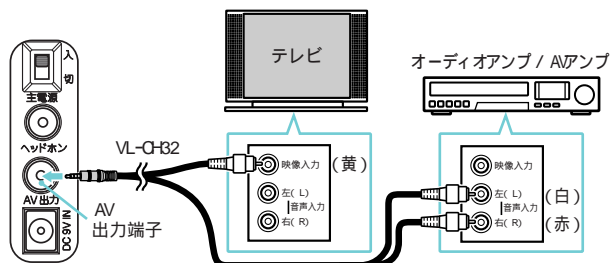
防水モニターと外部の機器を接続する

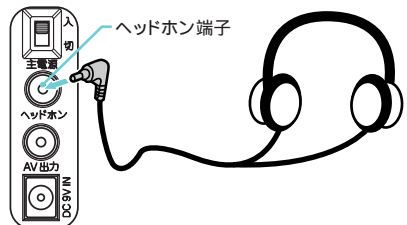
別売の専用ステレオビデオコード（VL-CH32）を使い、以下のように本機と他の機器をつないで使用することができます。くわしくは、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
（市販品のコードを使用した場合、画像や音声が正しく出ない場合があります。）

!注意
ジャックカバーを開いて、他の機器と接続した状態では、防水にはなりません。

テレビに接続する

本製品で再生する映像や音声を、テレビで楽しむことが出来ます。
本製品の AV出力端子とテレビの映像・音声入力端子を接続します。

!注意
- 本製品の設置のしかたにより、テレビに出力する映像に色むらがでることがあります。
  その場合は、本製品をテレビから離してください。
- 接続するテレビの画面サイズ（16：9または4：3）に合わせて、送信機に接続した映像機器の設定をおこなってください。

AVアンプに接続する

本製品で再生する映像をテレビに、音声を AVアンプに出力して楽しむことができます。
映像出力プラグをテレビの映像入力端子に、音声出力プラグを AVアンプの音声入力端子に接続します。テレビと AVアンプが離れている場合は、市販品の延長コードを併用してください。

ヘッドホンをつなぐ

市販のヘッドホンをヘッドホン端子に接続すると、スピーカーから音を出さずに再生できます。

!注意
大きな音量で長時間お聞きになると、聴力に悪影響が出ることがありますのでご注意ください。

ステレオビデオコードの購入については付属の申し込みハガキをご利用になるか、直接「お客様サービス係」までご相談ください。

ステレオビデオコード（品番：VL-CH32）　1,260円（本体価格 1,200円）
（2006年 11月現在の価格です。変更することもあります。）

〒959-0292　新潟県燕市吉田西太田2084-2
ツインバード工業(株)　「お客様サービス係」

消費税法の改正により、消費税相当額を含んだ支払総額で価格を表示しています。
消費税は平成 16年 4月現在の税率に基づいて計算されています。

こんなときは

ご使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前にまず次の点をお調べください。
また、接続している映像機器などの取扱説明書もよくお読みください。

電　源

こんなときは	原　　因	処　置　方　法	参考ページ
防水モニターの充電ができない 充電ランプが点灯しない	防水モニターの主電源が「入」になっていない。	ジャックカバーを開けて、主電源スイッチを「入」にしてください。	20
	防水モニターの電源が入っている。	電源ランプが点いていませんか？ 電源ボタンを押して、防水モニターの電源を切ってください。 防水モニターの電源が入っている場合、充電することはできません。	21 19
	防水モニターが充電台に正しく置かれていない。	防水モニターを充電台に正しく置いてください。	19
	ACアダプターが正しく接続されていない。	ACアダプターを正しく接続してください。	18 19
	バッテリーパックの充電が完了している。	バッテリーパックが満充電の場合、充電はしません。	
	充電台や防水モニターの充電端子が汚れている。	充電台や防水モニターの充電端子を、乾いた綿棒などで掃除してください。	36
	バッテリーパックのコネクタがはずれている。	バッテリーパックを正しく取付けてください。	30
	バッテリーパックの寿命。	新しいバッテリーパックをお求めください。	30
防水モニターの電源が入らない	防水モニターの主電源が「入」になっていない。	ジャックカバーを開けて、主電源スイッチを「入」にしてください。	20
	バッテリーパックが充電されていない。	バッテリーパックを充電してください。	18
	防水モニターが充電台に正しく置かれていない。	防水モニターを充電台に正しく置いてください。	19
	ACアダプターが正しく接続されていない。	ACアダプターを正しく接続してください。	18 19
自動的に電源が切れた 電源を入れてもすぐに切れる	バッテリーパックが消耗している。	バッテリーパックを充電してください。 防水モニターのバッテリーパックの電池容量が少なくなると、自動的に電源が切れます。	18
送信機の電源が入らない	ACアダプターが正しく接続されていない。	ACアダプターを正しく接続してください。	18

映　像

こんなときは	原　因	処　置　方　法	参考ページ
映像が出ない	電源が入っていない。	送信機・防水モニター・映像機器の電源ランプが消えていませんか？ 電源を入れてください。	20
	映像機器を接続した入力端子を選択していない。	入力切替ボタンを押して、映像機器を接続した入力端子を選択してください。	20
	送信機の入力端子にAVケーブルが正しく接続されていない。	送信機の入力端子に、AVケーブル・S映像ケーブルを正しく接続してください。	15
	モニター画面の表示を消している。	防水モニターのワイド切替ボタンを押してください。	22
	送信機からの電波を受信できていない。	「電波を受信できません」の表示が出ていませんか？ こんなときはの「電波を受信できません」の表示が出るの項目を確認してください。	34
映像全体が白っぽい または黒っぽい	室温が低い。	20℃以上の温かい場所にしばらく置いてから電源を入れてください。	
	明るさなどの調節が合っていない。	明るさなどを調節してください。	23
映像が悪い ブロック状のノイズが出る 時々止まる	動きが速い映像を再生している。	本製品は無線と画像圧縮の技術を使用している性質上、動きが速い映像では、映像が少し乱れることがありますが、故障ではありません。	
	本製品と同じ周波数帯を利用する機器（無線LANや電子レンジなど）が近くで動作している。	送信機・防水モニターの向きや位置を変えてみてください。 また、通信チャンネルの変更で改善される場合があります。 詳しくは「電波を受信できないとき」をご覧ください。	28 29
	防水モニターと送信機の間を、人やものが横切った、またはさえぎっている。		

音　声

こんなときは	原　因	処　置　方　法	参考ページ
音声が出ない	送信機の入力端子にAVケーブルが正しく接続されていない。	送信機の入力端子に、AVケーブルを正しく接続してください。	15
	音量が“0”になっている。	音量ボタンを押して調節してください。	21
	防水モニターにヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンをはずしてください。 ヘッドホンが接続されていると、防水モニターから音が出ません。	31
音声が悪い 雑音が入る 途切れる	本製品と同じ周波数帯を利用する機器（無線LANや電子レンジなど）が近くで動作している。	送信機・防水モニターの向きや位置を変えてみてください。 また、通信チャンネルの変更で改善される場合があります。 詳しくは「電波を受信できないとき」をご覧ください。	28 29
	防水モニターと送信機の間を、人やものが横切った、またはさえぎっている。		

電　波

こんなときは	原　因	処　置　方　法	参考ページ
「電波を受信できません」の表示が出る	送信機の電源が入っていない。	送信機の電源を入れてください。	20
	電波が届いていない。	防水モニターを送信機に近づけてください。詳しくは「電波を受信できないとき」をご覧ください。	28 29

リモコン

こんなときは	原　因	処　置　方　法	参考ページ
防水学習リモコンで操作ができない 反応が鈍くなった	防水学習リモコンを防水モニターのリモコン受光部に向けていない。	防水学習リモコンを防水モニターのリモコン受光部に向けて操作してください。	21
	防水学習リモコンと防水モニターの間が遠い。	防水学習リモコンと防水モニターの距離が3m以内の場所で操作してください。	21
	防水学習リモコンと防水モニターの間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。	21
	防水モニターのリモコン受光部に、直射日光や照明（蛍光灯）など強い光が当たっている。	防水モニターの向きを変えてください。	21
	防水学習リモコンの電池が消耗してい	新しい電池に交換してください。	19
	防水学習リモコンの電池の極性を間違って入れている。	電池の極性を確認して、正しく入れ直してください。	19
防水モニターの操作（音量の調節など）はできるが、映像機器の操作のみできない。	AVコントローラーが映像機器のリモコン受光部に正しく向いていない。	AVコントローラーの向きを映像機器のリモコン受光部に向くように、固定をやり直してください。	17
	防水学習リモコンの機器選択ボタンを押していない。 別の機器選択ボタンを押している。	操作したい映像機器を学習させた機器選択ボタンを押してから、各種の操作ボタンを押してください。	27
	防水学習リモコンに映像機器のリモコン信号が正しく学習されていない。	リモコン信号の学習をやり直してください。	25 26
	防水学習リモコンの信号とAVコントローラーの信号が干渉している。	映像機器と防水モニターが近くに設置されている場合、防水学習リモコンの信号が映像機器に直接届くことがあります。このような場合には、送信機からAVコントローラーをはずして、防水学習リモコンを映像機器に向けて操作してください。	
	送信機からの電波を受信できていない。	「通信中」「電波を受信できません」「通信チャンネル最適化中」の表示が出ていませんか？ 映像機器の操作は、送信機と通信が完了しないとできません。通信が完了してから操作してください。	20 29

リモコン

こんなときは	原　　因	処　置　方　法	参考ページ
防水学習リモコンに映像機器の信号を学習できない。	防水学習リモコン・映像機器リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池を交換してください。	19
	防水学習リモコンの受光部と映像機器リモコンの発光部の位置が合っていない。	防水学習リモコンと映像機器のリモコンの距離を近づけたり、離したりして、学習をやり直してください。	25 26
	防水学習リモコンの受光部に、直射日光や照明（蛍光灯）など強い光が当たっている。	防水学習リモコンの向きを変えて、学習をやり直してください。	25 26
	映像機器のリモコン信号が特殊で、防水学習リモコンに対応していない。	特殊なリモコン信号は、防水学習リモコンで学習することはできません。 映像機器の操作は、映像機器付属のリモコンを使用してください。	

映像機器との接続〔AV1出力端子〕

接続している映像機器などの取扱説明書もよくお読みください。

こんなときは	原　　因	処　置　方　法	参考ページ
AV1入力端子に接続した映像機器の映像・音声を、AV1出力端子に接続した機器で見たり聞いたりできない	AV1入力端子に接続した映像機器の電源が入っていない。	AV1入力端子に接続した映像機器の電源を入れてください。	
	送信機のAV1入力端子にAVケーブルが正しく接続されていない。	送信機のAV1入力端子にAVケーブルを正しく接続してください。	16
AV1出力端子のS映像端子から映像信号が出ない	AV1入力端子のS映像端子に映像機器が接続されていない。	AV1出力端子は、AV1入力端子に接続された信号をそのまま出力します。 S映像端子を持たない映像機器をAV1入力端子に接続した場合、AV1出力端子のS映像端子から映像信号を出力することはできません。	16
AV2・AV3入力端子に接続した映像機器の映像・音声を、AV1出力端子に接続した機器で見たり聞いたりできない	AV1出力端子は、AV1入力端子に接続した映像機器の信号（映像・音声）しか、出力できません。	映像機器の映像・音声を防水モニター以外の機器でご覧になるには、AV1入力端子に接続してください。	16

お手入れ

お手入れは、必ず電源スイッチを切って外部電源を抜いてからおこなってください。

- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸して、固くしぼってふき、そのあと乾いた布でふきとるときれいになります。
- シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類では絶対にふかないでください。
- 防水モニター・充電台の充電端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。

製品を廃棄するとき

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。製品が古くなりお使いにならない場合はリチウムイオン電池を取り出して協力店にお持ちになり、リサイクルにご協力ください。

バッテリーパックの取り出し方法は、「バッテリーパックの交換とリサイクルについて」（30ページ）をご覧ください。

アフターサービス

1.保証書

- 裏表紙に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げ日から1年間です。

3.修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、直らないときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または当社「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

- 保証期間中の修理
  保証書の規定により無料修理します。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店か当社「お客様サービス係」までお申し出ください。
- 保証期間がすぎている修理
  修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店か当社「お客様サービス係」にご相談ください。

4.補修用性能部品の最低保有期間

- この防水ワイヤレスモニターの補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年です。
- 性能部品とはその製品の機能を保持するために必要な部品です。

5.アフターサービスについてご不明の場合

当社「お客様サービス係」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した商品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

お客様サービス係
（フリーダイヤル）0120－337－455
FAX （0256）93－1077
お電話承り時間：平日（月曜～金曜）午前9時～午後5時
〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

仕　様

防水モニター

項目		
電源	専用ACアダプター	入力：AC100V　50／60Hz
		出力：DC9V 1.5A
	専用バッテリーパック(内蔵)	DC7.4V 3800mAh
消費電力	動作時	約11W
	充電時	約13W
防水仕様	JIS IPX7（旧JIS保護等級7防浸形）相当＊1	
製品質量(約)	1.1kg（バッテリーパック含む）	
製品寸法(約)	幅245×奥行55×高さ135mm（スタンドを閉じた状態）	
液晶パネル	画面サイズ	7V型ワイド（横154×縦87／対角177mm）
	画素数	336,960（横480×3(RGB)×縦234）＊2
	表示素子	カラーフィルター付TN透過型液晶パネル
	駆動方式	TFTアクティブマトリックス駆動方式
	使用光源	蛍光管内蔵
スピーカー	Φ40mm×2	
音声出力	約0.3W+0.3W	
連続使用時間	約2.5時間（新品のバッテリーパックを、満充電で使用）＊3	
充電時間	最大8時間	
接続端子	ヘッドホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック
	AV出力端子	Φ3.5mm4極ミニジャック ＊専用ステレオビデオコード（VL-CH32）のみ使用可
	外部電源端子	DC9V　JEITA　電圧区分3
動作温度範囲	5℃～40℃	
保存温度範囲	－10℃～50℃	

送信機

項目			
電源	専用ACアダプター		入力：AC100V　50／60Hz
			出力：DC9V 1.5A
消費電力	約9W		
防水仕様	非防水構造		
製品質量(約)	440g		
製品寸法(約)	幅220×奥行140×高さ57mm		
接続端子	外部電源端子		DC9V JEITA 電圧区分3
	AV1～3入力端子	S映像端子	4ピンミニDINジャック
		映像端子	RCAピンジャック　黄
		音声端子(左)	RCAピンジャック　白
		音声端子(右)	RCAピンジャック　赤

項目			
接続端子	AV1出力端子	S映像端子	4ピンミニDINジャック
		映像端子	RCAピンジャック　黄
		音声端子(左)	RCAピンジャック　白
		音声端子(右)	RCAピンジャック　赤
	AVコントローラー端子		Φ3.5mmミニジャック×2 ＊付属AVコントローラー専用
動作温度範囲	5℃～40℃		
保存温度範囲	－10℃～50℃		

無線部

項目		
準拠規格	IEEE 802.11a	5GHz帯小電力データ通信システム
	IEEE 802.11g/b	2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
変調方式	IEEE 802.11a/g	OFDM方式
	IEEE 802.11b	DS-SS方式
周波数範囲（中心周波数）	IEEE 802.11a	5.180GHz～5.240GHz(Ch 36,40,44,48,)
	IEEE 802.11g/b	2.412GHz～2.462GHz(Ch 1～11)

付属品

項目		
充電台	防水仕様	非防水構造
	製品質量(約)	90g
	製品寸法(約)	幅160×奥行67×高さ56mm
	外部電源端子	DC9V　JEITA　電圧区分3
防水学習リモコン	防水仕様	JIS IPX7(旧JIS保護等級7防浸形)相当＊1
	使用電源	CR2032 リチウム電池×1ヶ
	ボタン	防水モニター操作ボタン　6ヶ
		機器選択ボタン　3ヶ
		学習可能ボタン数　48ヶ×3
	製品質量(約)	70g（電池含む）
	製品寸法(約)	幅57×奥行13×高さ190mm
ACアダプター	防水仕様	非防水構造
	入力	AC100V　50/60Hz
	出力	DC9V　1.5A
	コード長	約1.8m
AVコントローラー(約1.5m)…1、リチウム電池(CR2032)…1、AVケーブル(約1.8m)…2、 S映像ケーブル(約1.5m)…2、取扱説明書(保証書付)、申し込みハガキ		

＊1 IPX7　定められた条件で水中に没しても内部に水が入らないもの。
＊2 液晶パネルは非常に高度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
あらかじめご了承ください。
＊3 使用時間は周囲温度25℃で連続動作させた場合の目安です。使用状況（音量、明るさ等）や周囲温度により変動します。バッテリーパックは使用と充電を繰り返すと使用時間が短くなります。